

社会福祉士と弁護士が構築する実践モデル！
主要項目を事例で掘り下げ、丁寧に解説

刑事司法 ソーシャルワーク の実務

本人の更生支援に向けた 福祉と司法の協働

千葉県社会福祉士会・千葉県弁護士会 編

2018年12月刊 A5判 384頁(予定) 本体3,600円+税 978-4-8178-4526-9 商品番号：40743 略号：刑実

- アセスメントから更生支援計画書の作成、証人出廷まで主要項目を事例で掘り下げ、丁寧に解説。複数の書式例も収録。
- 1つの事例に対して社会福祉士、弁護士双方の視点からポイントを解説することで、事件の流れを立体的に捉えることができる。
- 司法と福祉の連携による、再犯防止・更生支援に取り組むための一冊。

【主な収録内容】

第1編 総論

～刑事司法・更生支援と福祉の関わり～

- 第1章 「刑事司法ソーシャルワーク実践」総論
- 第2章 刑事司法の流れ／刑法・刑事訴訟法の基礎知識
- 第3章 再犯防止をめぐる新たな動き
 - 第1 弁護士の視点から
 - 第2 社会福祉士の視点から
 - 第3 検察の視点から
- 第4章 各障害の知識／症状と特性、対応方法

第2編 ケーススタディ

～項目別・事例別に学ぶ実務のポイント～

- 第1章 入口支援における刑事司法ソーシャルワークの支援プロセス
- 第2章 項目編
 - 1. 情報の収集

- 2. 更生支援計画書の作成と証人出廷
- 3. 刑事記録の確認と計画書の見直し
- 4. 証人尋問と弁論・判決
- 5. 入所後の関わり・退所後を見据えた地域との連絡調整

第3章 事例編

- 1. 支援体制の構築・関係機関との調整／アセスメント
- 2. 面談・聴取と支援の限界
- 3. 受任弁護士からの連携要請／要支援者発見の端緒・要請先
- 4. 否認事件における弁護活動
- 5. 弁護戦略と支援計画
- 6. 更生支援計画書の実践・計画内容の変更
- 7. ケア会議における再犯防止策と本人の権利擁護

第3編 更生支援の現場から

～当事者・関係者の声～

日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 TEL:03-3953-5642 FAX:03-3953-2061 (営業部) www.kajo.co.jp
ツイッターID:@nihonkajo